

平成22年3月15日

## 新型インフルエンザ（A/H1N1）対策に関する総括について

1. 目的：今般発生した新型インフルエンザ（A/H1N1）に関する対策の総括を行い、今後の新型インフルエンザ（A/H1N1）の再流行及び鳥インフルエンザ（H5N1）対策の見直しに活かす。
2. 総括の視点
  - （1）目標達成状況
  - （2）対策の効果
  - （3）諸外国との比較
  - （4）施策の遂行上の課題
  - （5）その他
3. 総括の進め方のイメージ
  - 今回の新型インフルエンザ（A/H1N1）対策の方針策定等に携わった専門家並びに「新型インフルエンザ対策行動計画」及び「新型インフルエンザ対策ガイドライン」の作成に携わった専門家を中心として、総括を中心的に担う本委員を選定。
  - 本委員により、まず、今回の対策の経緯について事実関係を中心に整理するとともに、対策等に携わった専門家として見た今後の課題等を抽出。
  - そのうえで、毎回テーマ（検疫、公衆衛生、広報、医療、ワクチンなど）を設定し、各分野の専門家や有識者を参考委員として招き、意見交換を行う。
  - こうしたいわば第三者による評価や提言等を含め、本委員により全体の総括を行い、取りまとめを行う。
4. 当面のスケジュール
  - 3月末までに本委員を選定し、設置後速やかに第1回委員会を開催。
  - 以後、月2回程度開催し、6月頃までの取りまとめを目指す。